

MEJ NEWSLETTER

VOLUME 3

OCTOBER

2024



■ 理事長 渋谷健司の企業訪問 第3弾 株式会社アスコット・メディック

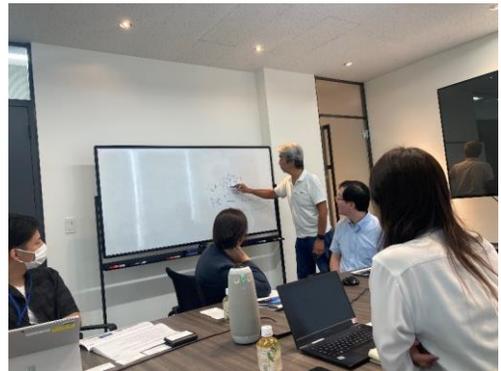
2024年9月11日、渋谷理事長が株式会社アスコット・メディック(以下:アスコット・メディック)を訪問しました。アスコット・メディックは、中国の平安保険グループを主たる株主とする株式会社アスコットの子会社として2022年に設立されました。訪日医療、精密検診、先進医療のコーディネート事業や、医療通訳及び翻訳事業をメインの事業として活動されている渡航支援企業です。MEJの企業会員かつ、MTFのC-2会員としてご活躍いただいております、年末には医療滞在ビザの身元保証機関登録を目指していらっしゃいます。

面談では、渋谷理事長よりMEJの活動を改めて説明し、その中でアスコット・メディックとのインバウンド事業での連携について検討しました。アスコット・メディックは、平安保険グループとの連携から、中国からの渡航受診者を多く日本の医療機関に紹介しています。また、日本の医師免許を持つ方も在籍し、現地の医療情報の整理や翻訳においては、国内医療機関からも定評があります。

こういった渡航受診支援の活動は、ESGの取組みの一環と考え、地域社会に還元することが親会社であるアスコットの不動産事業などにもつながると考えていらっしゃいます。渋谷理事長からも、医療インバウンドの取組みは、自由診療で外貨を稼ぐだけではなく、そこで得た利益を過疎地域の医療へ返していくといった好循環を生んでいきたいとお伝えしました。



左から、MEJ中期実践委員 柳谷(一般社団法人日本セルフケア推進協議会 広報部長)、CS広報部 部長 呉原、渋谷理事長、株式会社アスコット・メディック 王氏、呉 博士、株式会社アスコット 経営企画室 棚木氏、清水氏、国際事業部 高氏



面談中はホワイトボードを使って、議論が白熱した場面も…

～企業会員より一言～

「この度、MEJの渋谷理事長にご訪問いただき、大変有意義な面談となりました。特に、医療インバウンド事業を通じて地域社会に貢献するという視点に共感いたしました。当社が手掛ける訪日医療や精密検診の分野で、今後さらにMEJとの協力を深められることを期待しています。議論も白熱し、具体的な連携の可能性が広がったことを嬉しく感じております。今後とも引き続き、より良い事業展開に向けて尽力してまいります。」

■ 理事長 渋谷健司の企業訪問 第4弾 株式会社ツムラ

2024年9月18日、渋谷理事長が株式会社ツムラ(以下:ツムラ)を訪問しました。すでにご存じの方も多いかと思いますが、ツムラは医療用・一般用の漢方を製造・販売している創業131周年の会社です。漢方医学はチャイニーズメディスンの印象が強いですが、実際には日本独自で発展したものになります。自然由来の生薬は含まれる成分など品質を一定にすることが難しく、均質な漢方製剤をつくるために、日本薬局方よりも厳格な「ツムラ基準」を満たした生薬だけを使用しているところにツムラのこだわりを感じました。

過去には漢方薬に対する品質は大丈夫なのか、有効性はあるのか、安全性は大丈夫なのかといった不満や誤解もあったそうです。エビデンスがないことで漢方薬の衰退の危機もあったとのこと。そんな背景もあって、ツムラだけではなく日薬連・製薬協と連携はもちろんのこと、日漢協(日本漢方生薬製剤協会)で漢方の課題解決に向けた活動を行われていました。2016年には、漢方の将来ビジョン研究会が発足され、漢方製剤に関わる研究の推進、品質確保・安定供、漢方製剤の海外展開の推進という漢方の課題と対応策を提言されています。

ASEAN市場参入調査については、日本薬局方(漢方エキス40処方収載)の参照制度がある国があること、生薬調達をしている国がありコネクションがあること、そして高い経済成長が理由にあるとお話されていました。

ASEAN諸国では伝統薬や植物薬のカテゴリがあり、天然生物由来の漢方と親和性があると考えられています。

また、渋谷理事長との議論の中では、ASEAN諸国への参入において、MEJとの連携機会の提供など、MEJとして支援できることを重ねて協議していくことを提案しました。

ツムラの高品質な漢方製剤で人々の健康と医療に貢献したいという熱い思いが伝わってくる面談時間となりました。均質な漢方製剤づくりを行ってきたツムラの漢方製剤の海外展開にも期待が高まりました。



左上:国際開発本部 本部長 金子氏、執行役員 研究開発本部 本部長 国際開発本部担当 マーケティング本部担当 今田氏、MEJ理事長 渋谷、国際開発本部国際研究部 部長 後藤氏、渉外調査室渉外調査グループ グループ長 味岡氏、国際開発本部国際研究部研究課 主任 蔵菌氏

左下:国際開発本部国際研究部 国際研究課 課長代理 上嶋氏、MEJ 広報部長 呉原、理事 研究開発本部 副本部長 香取氏、国際開発本部国際研究部国際管理課 課長補佐 榊氏

～企業会員より一言～

「今回の面談でASEAN市場での可能性を改めて感じる事が出来ました。同地域での参入の際には様々な面からMEJ様にサポートして頂けることを確認することが出来ました。大変心強く感じております。参入を具体化させていく中で、改めてご相談させて頂きたいと思っておりますので、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。」

■ MET-MEJフォーラム開催

2024年9月4日にタイ・バンコクにて、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)と共同で「第1回ME Japan-ME Thailandフォーラム会議」を開催いたしました。



MEJはERIAとの協働で、MExxの活動の一環として、日タイの産官学医連携を推進するため、同国における対話的枠組みである「Medical Excellence THAILAND(以下、ME Thailand)」設立に向けた取組を行っており、この度、活動開始を記念して、第1回ME Japan - ME Thailandフォーラム会議をハイブリッド形式で開催いたしました。当日は、タイ保健省、タイ商工会議所、タイ医療機器業界団体(ThaiMed)、高齢者サービス業界団体(Senior Health Service and Trade Association (SHSTA))、をはじめ100名以上の方に参加いただき盛況なフォーラムとなりました。また、日本企業10社が現地で展示ブースを設け、フォーラム後にタイ企業/医療機関8団体と個別面談が行われました。



翌9月5日にはタイ保健省健康サービス推進局Ngamnetr Eiamnakha氏を訪問し、各企業の製品・医療機関紹介及び意見交換会を行い、その後Chersary Home(高齢者施設)・Samitivej Sukhumvit Hospital(私立医療機関)訪問を行いました。
今後もME Thailandと共同でイベント開催を企画して参ります。

ベトナムからのインバウンド促進活動



経済産業省からの委託事業において、ベトナムから日本への送り出し拠点機能の実証事業を実施しています。

日本における医療インバウンドの停滞の要因の分析と課題解決に向け、Medical Excellence VIETNAM(MEV)で関係構築をしているハノイ医科大学病院と連携し、MEV-MEJ officeを同院内に設置し、医療の質にコミットした送り出し支援をすべく活動しています。

また、ハノイ医科大学病院では、MEJアウトバウンド事業の1つのがん検診センタープロジェクトも遂行されていることから、今後はMExx構想に基づき、インバウンド・アウトバウンドの融合も行っていく予定です。

■ お知らせ

アウトバウンド委員会の分科会も始動しております。まだまだメンバー募集中ですので、アウトバウンド事業をお考えの方はこの機会にぜひご参加下さい。

- 10月4日(金) 第1回セルフケア分科会
- 10月7日(月) 第1回循環器分科会
- 10月9日(水) 第1回がん分科会
- 10月23日(水) MET(台湾)ーMEJインバウンドシンポジウム
- 10月30日(水) メディヴァセミナー「認知症に優しいデザイン」



MEJサロン 企画募集中

現在、MEJでは企業会員の方、フォーラム会員の方による勉強会の企画を募集しております。
自社の事業内容のご紹介や、アウトバウンド・インバウンド事業の成功例/失敗例など、会員の方にシェアしてみませんか？
貴団体の認知度を高め、新たなビジネスチャンスを生み出すかもしれません。少しでもご興味がある方は、是非CS広報部までご相談ください。

編集後記

私山口の個人的なつづやきになりますが・・・先日体調を崩し、このニュースレターをツムラさんの漢方を飲みながら書き上げました。そして体調がよくなってきたところで、追撃のツムラのくすり湯で、体を芯から暖めて、快方へと向かいました。ツムラさん、ありがとうございました。

